

『形成外科で扱う疾患』

「形成外科」って「整形外科」とどう違うの?といった質問をよく受けます。ざっくり言うと「整形外科」は骨を扱う科で、「形成外科」は皮膚を扱う科で、「形成外科」は皮膚の外科といつたところです。

でも扱っています。顔の皮膚に近になつてシミのようなものができてだんだん大きくなってきたといったことはないでしょうか。しそのシミが薄茶色で、ちょっと盛り上がついたら“脂漏性角化症”かもしれません。皮膚科の先生に診てもらって“脂漏

性角化症”と言われたことがある方もいるでしょう。これは手術である程度きれいに取ることができます。またはもしそのシミが赤みを帯びていたら“日光角化症”かもしれません。これはいわゆる『前がん病変』です。放置すると皮膚がんになつてしまします。手術で切除すればがんになることはないのですが、早めに診察を受けることをお勧めします。

まぶたが垂れ下がつてきてものを見づらくなつたといつたことはありませんか。そのようなときには眼科にからくの場合は入院していただくなりがあります。眼科の先生の診察を受けて“眼瞼下垂”と診断されたら、ぜひ形成科を受診してみてください。

皮膚が垂れ下がつているだけの状態であれば、余分な皮膚を切除するだけで改善します。眼瞼

瞼下垂の手術を行っています。上眼瞼（上まぶた）の皮膚が垂れ下がつているだけの状態であれば、余分な皮膚を切除するだけで改善します。眼瞼



函館中央病院

木村 中 形成外科診療部長

昭和59年、北海道大学医学部卒業。旭川厚生病院形成外科、東京大学医学部附属病院、形成外科メモリアル病院、北海道大学医学部附属病院などを経て、平成2年から函館中央病院に勤務。同院形成外科医長、形成外科科長を歴任し、平成14年に形成外科診療部長就任。日本形成外科学会専門医、日本熱傷学会専門医、日本臨床皮膚外科学会専門医。



函館中央病院

函館市本町33-2
☎0138-52-1231(代)
<http://www.chubyou.com/>

診療科目／内科・消化器内科・循環器内科
小児科・外科・整形外科
形成外科など全17科目
受付時間／9:00~11:30・14:00~16:00
※土曜は午前のみ。
科や時間帯によっては要予約。
休診日／日曜・祝日